



つわの

6月定例会

議会だより

平成28年 第4回定例会

- 補正予算 2
- 条例制定・改正、契約 3
- 一般質問 4~7
- 全員協議会、所管事務調査報告 8
- 日原にぎわい創出プロジェクト活用イメージ 9
- 木質バイオマスガス発電中間報告 10
- 賛否表、意見書 11
- この人にインタビュー・編集後記 12

No.43 (2016)

平成28年7月20日発行
島根県津和野町議会
TEL 0856-74-0089
E-mail gikai@town.tsuwano.lg.jp
印刷：津和野印刷

6月30日、弥栄神社輪くぐり神事

☆平成28年☆第4回(6月)定例会を開催

平成28年度 一般会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ、2億1360万円を追加し、総額81億5860万円を可決しました。

主たる歳出

※千円以下切り捨て

【総務費】

減債基金積立金	6700万円
津和野町総合振興計画策定支援業務委託料	496万円
コミュニティ助成事業(宝くじ)補助金	230万円
(喜時雨・グラウンドゴルフ人工芝)	
地域医療視察ツアー事業補助金	130万円

【民生費】

臨時福祉給付金給付システム改修委託料	207万円
--------------------	-------

【農林水産業費】

林業振興費(美しい森林づくり事業等)	1709万円
--------------------	--------

【商工費】

商工業事業後継者支援事業補助金	198万円
津和野駅トイレ改修工事	1998万円
津和野駅周辺工事	3262万円
カトリック教会物見櫓、土堀等修繕工事	704万円
東京事務所管理費委託料	510万円
(島根型6次産業ステップアップ事業等)	

【土木費】

中座団地フェンス修繕料	287万円
-------------	-------

【教育費】

畑迫病院修理工事	1203万円
----------	--------

【災害復旧費】

土木施設単独災害復旧工事	2586万円
--------------	--------

主たる歳入

【国庫支出金】

臨時福祉給付金事業費補助金	207万円
都市再生整備事業費補助金	2960万円

【県支出金】

災害被害森林復旧対策事業費補助金	202万円
東京事務所関連事業	350万円
(島根型6次産業ステップアップ事業補助金)	

【繰入金】

財政調整基金繰入金	1800万円
産業後継者育成基金繰入金	198万円

【町債】

観光施設整備事業	3510万円
公共土木施設災害復旧事業	3000万円

条例の制定・改定の 主なもの

●津和野町税条例の一部改正

法人税、自動車税等の改正
をするもの

●津和野町国民健康保険税の一部改正

賦課限度額の見直し、軽減
判定所得の算定基準を改正す
るもの

●津和野町過疎地域自立促進 計画（平成28年度～平成32年 度）の変更

伝建防災対策調査事業を追
加するもの

●津和野町美しい森林（もり） づくり条例の制定

推進するにあたり、基本的事
項を定めるため制定するもの

●津和野町国民健康保険税条 例の一部改正

医療・介護保険税率の引き
上げに伴い、均等割額、平等
割額を改正するもの

●津和野町指定地域密着型 サービスの事業の人員、設備 及び運営に関する基準を定め る条例の一部改正

単独型指定認知症対応型通
所介護事業所を指定地域密着
型通所介護事業所、指定認知
症対応型通所介護事業所に改
正するもの

●津和野町指定地域密着型介 護予防サービスの事業の人員、 設備及び運営並びに指定地域 密着型介護予防サービスに係 る介護予防のための効果的な 支援の方法に関する基準を定 める条例の一部改正

建物に居住する利用者以外
の者に対しても指定介護予防
認知症対応型通所介護の提供
すること等を改正するもの

●津和野町放課後児童健全育 成事業の設備及び運営に関す る基準を定める条例の一部改正

放課後児童支援員の資格要
件を改正するもの

●津和野町家庭的保育事業等 の設備及び運営に関する基準 を定める条例の一部改正

特別避難階段の構造及び職
員配置に係る特別措置を改正
するもの

●津和野町まちなか再生関連 施設の設置及び管理に関する 条例の一部改正

町家ステイ上新丁（潮邸）
について、工事完了に伴い新
に追加するもの

契約の締結

●鷺原地区下水道管布設工事 請負変更契約の締結

随意契約

変更工期

平成28年9月30日

（63日追加）

（有）ナガヨシ技建

●星の子ステーション改修工事 請負変更契約の締結

随意契約

1億95万7320円

（1億239万7320円増）

カナツ技建工業（株）

※以上全て可決

賛否表はP11

●議会広報編集委員会委員 の変更

議会の申し合わせ（2年任期）
により、広報編集委員会委員の
顔ぶれがこの6月議会より変わ
りました。
新たな広報編集委員は次の通り
です。

委員長	米 澤 宥 文
副委員長	川 田 剛
委 員	丁 泰 仁
委 員	御 手 洗 剛
委 員	三 浦 英 治
委 員	板 垣 敬 司



新広報編集委員

Q あらゆる観光客に対応すべき 観光客のみならず 対応を進めていく



川田 剛議員

問 今年度は平成24年に策定された、第1次津和野観光計画の最終年である。この計画に掲げられている「身障者・高齢者への対応」について、今後整備される、トイレ等バリアフリーの対応はどうか。車椅子やベビーカーなど不特定多数の方が利用できると対応すべき。

町長 この4月から障害者差別解消法が始まっている。観光客のみならず、今後バリアフリー化を進めていかなければならないと考えている。

問 前年度より56%も増加している外国人宿泊客への対応は。また無料WiFi（無線LAN）の導入は必要不可欠である。

町長 外国人に対する多言語化は重要である。現在マップについては多言語化に対応している。サイン整備についても現在進めている段階である。無料WiFiを含め新たなインバウンド（訪日外国人旅行者）対策導入など、国、実施

Q 消防施設を見直す べき

A 順次見直していく

問 消防活動での有事や点検、訓練の後、ホースを干す場所がない。既設のホースを干す鉄塔もあるが、老朽化している。ホースを干す乾燥柱の更新及び設置をすべき。

町長 乾燥柱については、消防幹部会においても要望を聞いている。今後財政状況等をみながら順次整備を行ってまいりたい。

問 分団によって「消防詰所」と「消防車庫」と違いがある。待機場所としても機能する消防詰所に統一すべきと考えるが整備する考えはあるか。

町長 第2次津和野町消防団総合整備計画においても、各分団に1箇所程度、災害時の待機場所、連絡拠点となる詰所機能を備えた施設にする必要があるとしており、今後財政状況等を踏まえ検討していきたい。

Q 公営住宅建替え、改修は 計画に従い実行可能



丁 泰仁議員

問 4月16日、午前1時25分、「震度7」の地震が熊本で発生した。同時刻、当町でも「震度3」の強い揺れを記録した。熊本では熊本城天守閣、その他櫓が崩壊し、住宅の被害は約7万戸に及ぶと推定されている。当町の「老朽公営住宅」に及ぼす影響が懸念される。

災害復旧工事のため3年間延期されている「公営住宅等長寿命化プラン」に従い、平成29年度より「中座団地」を皮切りに平成31年度の「中島団地」の建て替え、改修工事は予定通り着手が可能か。

町長 既に、青原、日原地域で順次「プラン」に従い可能な所から工事を進めてきており両団地についても予定通り計画を進めるつもりである。

Q 「観光関連事業」の 進捗は 予定通り順調に経過している

問 政府は消費増税を平成31年10月に延期する事を発表した。増税延期でも「社会保障費」等の将来不安に備えるなどGDPの6割を占める個人消費の減退は、当面続きそうだが、厳しい経済環境の中で当町の「観光関連事業」進捗状況について以下問う。

まず、「町屋ステイ戎丁」の昨年度の「損益収支」宿泊数、インバウンド客の利用数。「町屋ステイ2号館」の開設は。

町長 損益収支は売上218万円。経費支出141万円。宿泊数55組で170人。「2号館」の開設は9月予定である。

問 昨年度インバウンド客の入込、及び町内宿泊数は。

町長 インバウンド客の宿泊者数は1000人。入込数は把握出来ていない。

問 「日本遺産センター」2階改修工事の進捗状況は。

町長 「センター改修工事」は補助金予算待ちで中断中。

問 国際交流協会の開設状況は。観光に寄与できるか。

町長 6月28日設立総会。インバウンド客対策も兼ね、観光への寄与は大である。

問 「山陰インバウンド機構」への当町の参加は如何か

町長 参加は検討中である。

Q まちづくり委員会の成果は住民参画の土台ができた



寺戸昌子議員

問 まちづくり委員会は、2期目を迎えているが、地域の課題解決に繋がった例は。

町長 全地域にまちづくり委員会が組織された。町内では20世帯以下の自治会が5割の中、まちづくり委員会の大きな単位での話し合いができた。

問 公民館との連携は。

町長 具体的な動きはない。

問 各まちづくり委員会の間で交流を。

町長 広報への活動紹介の提案があった。住民へ活動を知らせるシンポジウムを計画してもよいのではないかと。各まちづくり委員会同士の連携も考えたい。

問 地域担当職員の役割の検討が必要では。

町長 地域担当職員の人数等の見直しと地域のみなさんとしつかり関わりが持てるためのスキルアップを図っていく必要がある。

問 「まちづくり委員会は、お金のバラマキではないか」との声を

聞く。お金ありきではなく、地域の活動を活発にする工夫が必要なのでは。

町長 住民が自発的に地域の危険箇所をチェックして要望し、行政がそれに応える事例などが出てきている。買い物不便者対策では、まちづくり委員会が取り組み、それを受けて町は、シャープ(株)と新しい買い物不便対策に取り組もうとしている。これらも行政と住民の協働の事業と考える。協働のまちづくりの実績が始まっている。先進的事例を紹介し全体的に広がるよう進めていきたい。以前、日原連合自治会から自治会助成金のようなものを作って欲しいと町に要望があった。5年越しで町内にまちづくりの組織がほぼ整備できた。そこで、まちづくり組織交付金として助成することができた。

【その他の質問】

○対策本部の災害時対応

○障害者福祉センター開設



Q 町民の安心・安全のための業務継続計画策定は

A 現状は未策定、今後県等と協議し策定を進める



米澤宏文議員

問 大規模災害やテロ等発生時重要な役割を担う、業務継続計画6要素の策定状況と、町長不在時の明確な代行順位及び職員の実集体制は。

町長 町は大規模災害時対応の主体であり、今後関係機関と協議し策定を検討する。参集体制については、副町長・教育長・参事・総務財政課長である。

問 本庁舎代替え庁舎の特定は。

町長 本庁舎代替えは具体的な特定はない。

問 電気・水・食料の確保は。

町長 非常用発電機はある。水、食料は準備していない。

問 災害時に繋がりやすい多様な通信手段の確保は。

町長 県の防災行政無線がある。町としては、衛星携帯電話2台がある。今年度町防災行政無線を整備する。

問 重要な行政データのバックアップはどうか。

町長 津和野町舎電算室に行政データのバックアップ機能が設置してある。

問 非常時優先業務の整理は。

町長 現状では初動対応業務以外はない。今後検討する。

問 全町民の3日分の食糧確保でJAしまねと米の供給協定を締結されてはどうか。

町長 JAしまね西いわみ地区本部と協議する。

Q 町営バス運行時刻改正・民間バス停留所新設要望

A 町営バス時刻表は検討する。民間バス停留所新設は地元理解が必要

問 町営バスのJR津和野駅着が1分と8分遅れで通院、買い物等に便利な7時台の山口・益田方面に乗車出来ない。

町長 山口線存続のため町営バス時刻変更が必要ではないか。

町長 山口線利用促進協議会と連携を図り、対応する。

問 民間バスの町斎場前バス停新設を町が要望できないか。

町長 現時点で斎場の表示物を掲げるのは困難と予測する。

Q 子どもを産み育てる支援策を早急にできる限り早期の事業整備を目指す



京村まゆみ議員
問 ファミリーサポートセンター事業は、昨年度施政方針に盛り込まれながら、全く進んでいないのでは。子育て支援員配置と併せ進捗状況は。

町長 病児病後児保育の受け皿の役割を併せ持つ事業として整備を進めているが人材確保や研修体制など課題もある。

問 核家族での子育て、特に出産前後の母子を支える人的支援は急務である。益田市が今年度始めた産後母子デイケアサービス事業へ津和野町からも数件申し込みがあったそうだが益田市民対象事業なので受け付けられなかった。津和野町がやる気であれば、できる範囲で手伝いたいと言ってくださる助産師さんたちもおられる。全ての機能を備える事より、できる事からできる形で早期に始める努力を。

町長 総合戦略の柱である「若い女性が住みたいまちづくり」の中でも子育て支援は一丁目一番地で

ある。しかし、町として始める以上は、責任があるので万全を期してできる限り早期に実施したい。

Q 学校教育と社会教育の真の連携・協働を学びの協働事業を中心により良い形を検討していく

問 私はコミュニケーションスクール制度導入の方がより良い協働につながるという言い続けてきた。無理ならば「学びの協働」が少しでも良くなるために公民館単位のエリア会議開催と、長期休み中の児童生徒対象事業を中央のみでやらす、いろんな公民館に児童生徒が町バスで動けるようにすることを提案するが如何か。

教育長 エリア会議に今迄関わらなかった団体にも呼びかけ輪を広げる。また長期休業中についても、中学校エリアですり合わせしていく。



Q 鮎の追加放流を検討すべきでは協議会で検討したい



岡田克也議員
問 高津川の天然鮎を求めて全国から来町されるほど評価が高いが、昨年に引き続き、極めて不漁である。豪雨災害の影響もあるかと思われるが、漁協・島根県・益田市・吉賀町とも協議して、抜本的な対策、追加放流が出来るか等を話し合つべきでは。

町長 7月開催の高津川漁協の協議会において、追加放流等が可能か協議したい。鮎のみならず、イダ・ゴリ等と呼び戻すプロジェクトも必要。

Q 町営住宅の改修計画は年次計画で改修・建替えを行う

問 町営住宅の改修要望等が出ていると思うが、今後の計画について。

町長 平成25年度から34年度まで、長寿命化に向けて青原・小川・中座集合・枕瀬若者定住・サンハイツつわの・土井敷集合・畑迫の各団地を改修する。中座平尾・中島・土井敷平尾団地の建替えを

行っていく計画である。

Q 交付税・税収減に対して自主財源確保策を検討しては事業の可能性を検討したい

問 かつて高津川の豊地区晩越に水力発電があり、最近では吉賀町に小水力発電所が稼働したが、状況は。

町長 吉賀町小水力発電は、平成27年6月に稼働し、4億数千万円をかけて竣工、年間の売電益が6千万円、20年で12億円の売電収入が見込めるそうである。今後検討したい。

Q 木質バイオマスガス化発電の事業実施の可否判断の時期は時期は明言できない

問 町長が議会に対して、10億円の木質バイオマスガス化発電事業に対し、債務保証・損失補てんはしないと明言されたのは、深刻な町財政への影響を考慮しての好判断だと思うが最終判断はいつなのか。

町長 7月に長野県安曇野市の発電所を視察する予定。時期は明言できないが、稼働データの解析等を行い、協議会の判断を待ちたい。

Q 津和野町の目指す小さな拠点づくりとは

A 12のまちづくり委員会の範囲で安心して住み続けられる地域を目指す



草田吉丸議員

さな拠点の相違は。

町長 国の目指す「小さな拠点」は学校や医療機関など生活に必要な施設等が集約された拠点である。島根県や津和野町が目指す小さな拠点とは生活に必要な施設が整備されていない中山間地域においても、安心して住み続けられる地域を目指す「仕組みづくり」である。

問 津和野町の考える小さな拠点の範囲は。

町長 12のまちづくり委員会それぞれを「小さな拠点」の範囲と考えている。

問 仕組みづくりの具体例は。

町長 生活機能：（買い物支援）、生活交通：（集落から拠点施設までの交通対策）、地域産業：（農産加工などの6次産業化）などが考えられる。

Q 邑南町の県道で起きた落石事故後の対応は

A これまで以上に危険箇所の監視強化と安全対策工事の実施に努める

問 本年5月邑南町の県道で起きた落石事故は尊い命が失われるという悲惨な結果となった。この事故を受け町としてどのような対応をされたのか。

町長 要対策箇所の点検を実施した。今後は未施工区間の早期工事の実施、通常パトロールの点検強化を図り一層の安全確保に努めた。

Q 日原市街地の看板整備は

A 日原賑わい創出拠点づくり事業と合わせ整備したい

問 日原地区の活性化事業に合わせ、日原市街地の主要看板である横断看板（新地、栄町）のリニューアルと市街地入り口に市街地や本庁舎を示す案内看板が必要である。

町長 日原賑わい創出拠点づくり事業に合わせ整備したい。市街地入り口看板についても出来るだけ早く整備したい。

Q 弥栄神社、松林山天満宮を登録有形文化財の認定に

A 認定ランクを検討する



後山幸次議員

問 「津和野今昔百景図を歩く」の探訪コースに弥栄神社

が設定されている。文化財の指定はない。百景図の十六番にあるが、境内の鳥居が損傷して危険である。松林山天満宮の鳥居も倒壊寸前である。

修復に行政が関与すれば政教分離に抵触するのか。ふる里納税の寄付金で対応は。現状では探訪コースに影響が出ると思われるが対応は。

町長 鳥居は宗教的シンボルで、政教分離に抵触すると思われる。ふる里納税も町の会計であり、困難であると考える。

指定を受けた場合、宗教には関係なく文化財を守る観点で、補助等も検討できると考える。

問 弥栄神社の棟札が発見され、安政元年とあり多胡家表門よりも古い建築である。ぜひ登録をされたい。案内板の文字も消えかけ判

読できない。また大けやきの木柵、標柱の根元も腐食し危険である。輪くぐり神事、地酒と芋煮会、そして鷺舞も始まる。このような行事の始まる前に至急対応された

い。

教育長 大けやきは枝の補強はしたが、柵等は検討する。神社の認定は国、県、町とあり認定ランクは検討したい。

Q 養老館保存修理のため、鯉の鑑賞対策は

A 下流へ移動する

問 藩校養老館保存修理事業が始まると、2年間掘割の鯉の鑑賞ができない。町の観光の主役である鯉の鑑賞について工事説明板等の設置は。

教育長 養老館全体を素屋根で覆うため、鯉は下流（公民館前）に移動させたい。説明板は検討する。

【その他の質問】

○津和野藩跡公園整備

○美しい森林づくり

○協力隊、集落支援員、企業人雇用

○伝統工芸

全員協議会

平成28年6月22日、次の2つについて報告がありました。

①地方創生推進交付金が、9月中旬に交付決定の予定

条件として、当初予算または補正予算に計上されている必要があるため、次の予算を補正予算で対応する。

*企業誘致のためのIT人材スキルアップ事業

今年度総事業費 5000万円

*日原賑わい創出拠点づくり

事業（P9参照）

今年度総事業費 3922万円

地方創生推進交付金とは？

地方版総合戦略に位置づけられた取り組みの中でも先導的な自治体の事業に対し、事業費の半額（単年度事業費上限目安：5千万円）を交付する交付金。期間は3ヶ年。

②旧堀氏庭園畑迫病院組立等工事について

現在、オープンに向けて作業が進んでいる畑迫病院は、有料

展示スペース、無料展示スペース、レストラン・カフェスペースで検討中。

施設の運営は地元有志団体である「堀氏庭園を守り活かす会」が行う。レストランスペースは、土日祝日はレストラン、平日はカフェを提供。レストランスペースの厨房機器や家具等の備品（およそ800万円）は町において購入し、その

他の食器等消耗品等は同会の負担。展示スペースでは、復元された診療室や病室、事務室等に説明板を設置し、当時の面影を再現。情報発信等は地域おこし協力隊を検討中。



旧堀氏庭園畑迫病院

・所管事務調査報告・

【総務経済常任委員会】

「CAS凍結システムの活用について」

1、CAS凍結実証実験

①鮎・ツガニ・猪等は、凍結効果をこの1年で確認された。

②栗は収穫後にマイナス2℃のパーシャル保存を2週間行うことにより糖度が増し、燻蒸処理の必要もなく、CAS凍結により長期保存しても効果が持続する。

③わさびは醤油漬の他、すりおろした物をCAS凍結しても辛味や香りが抜けない。

2、CAS活用拡大戦略

商品開発、地産地消化、町外流通促進、国際化を押し進める。

3、日原山菜加工工場

12月には㈲フロンティア日原と統合し、生産から加工まで自社で行える体制を構築する。

業務の繁忙期が異なるため労働力の集中、体制の充実、経費削減を図る。

原材料確保のため生産量増加

対策を講じなければならない。生産組合では昨年、わさびハウス5棟を建設した。採算ベースを考慮すれば、現在の4倍程度にする必要がある。

審査意見

CAS凍結システムは、凍結による劣化が殆どなく、食品を保存する画期的なシステムであるが、1年間は試験的使用に終了した。今後、凍結する食材を大幅に増加させ、採算ベースに乗せることが必要。今回、食品加工や海外との流通等の経験を持つ地域おこし協力隊が業務に携わった。CAS凍結の核であるわさび生産量の増加対策をJAしまね、わさび生産組合と連携し、対策を講じるべきである。

※CASとは？

細胞組織を生かしたまま凍結できる技術。

CELLS ALIVE SYSTEM の略。



日原にぎわい創出拠点プロジェクト活用イメージ

(平成 27 年 12 月 22 日現在)

【主屋】コミュニティスペース
およびキッチン

座敷は、元々の建細で丁寧な造りを
できるだけ残し、活用。2階の座敷を、
ひと続きの空間としても使うことができ
るよう、現在の床の間の間を移設する(予
定)。座敷の基調には、イベント時に
も対応できる簡易なキッチン(食事の
準備や給湯程度)を配置する。



▲座敷のイメージ

【蔵】事務所・窓口

奥行があまりない蔵であるため、既存と
同じ一階のまま高い天井を生かして、空
間のボリュームを確保する。
地域外の利用者(観光客など)も入って
いきやすい“窓口”としての前・後部を
もたせた空間とする。

【蔵】展示室・ギャラリースペース

現在 2 階となっている一部を吹き抜け空間
とし、壁面に映像を映し出せる機能を持
たせた貸しギャラリースペース。
10 ～ 20 名程度のミニ上映会も可能。



▲上映機能付き展示室イメージ

【新設】図書館および会議室

心地よい場所で、ゆったりと本に親し
むことのできる図書館。カフェ・広場
側(北側)に大きく開口をとり、外の
景色をとりこむ。高津川や山を眺め
られる立地を生かし、広場側に張り
出した屋外テラスで本を読むこともで
きる。

【新設】トイレ

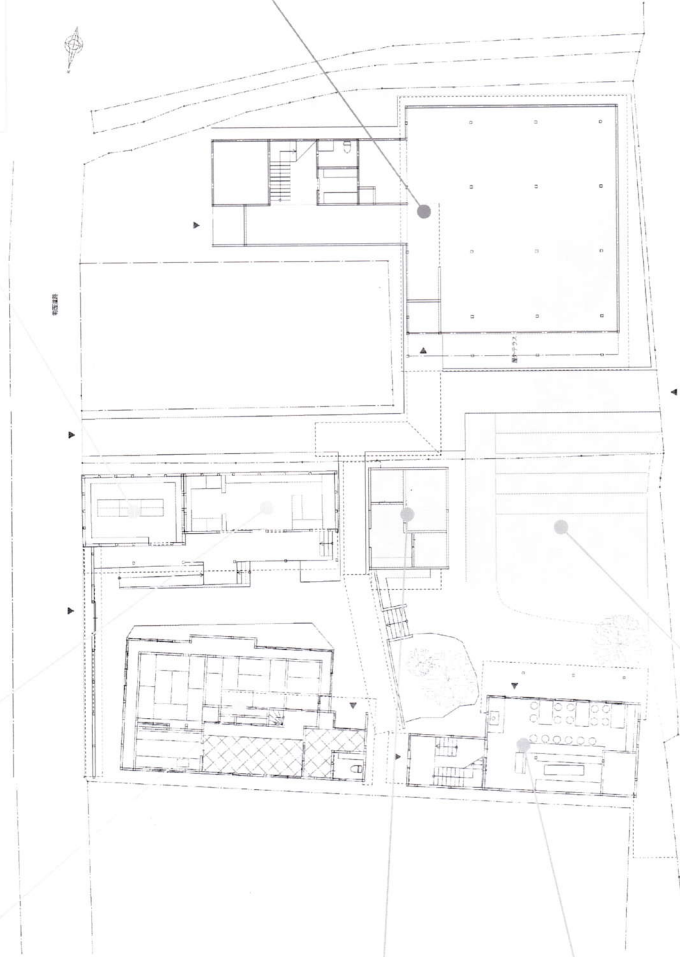
施設中央に配置した公共のトイレ。
外観は蔵のイメージ。

【新設】カフェ

広場に面して、外の景色をとりこんだ
カフェ。過ごしやすい気候の季節には、
広場に張り出した屋外テラスで飲食を
楽しむことができる。



▲カフェのイメージ



【新設】広場(座)

乳幼児連れの親子が遊ぶ程度の小規
模な広場。カフェと図書館の高差差(2
m 前後)により、自然な傾斜をもつ。
新築市やマルシェなどの小規模な催し
も対応できる。



▲広場のイメージ



▲広場のイメージ



▲図書館 屋外テラスのイメージ

平成 28 年 2 月 19 日全員協議会資料より

木質バイオマスガス化発電 調査特別委員会

中間報告

3月定例会で示された「『森里海連環』津和野町の再生可能エネルギーによる地域再生計画」にあるサプライチェーンは、これからの津和野町の生き残りをかけたプロジェクトである。

①UIターン②地域経済③子育て環境④資源と発信の4つのキーワードが示されている。その内、②地域経済の施策として、「木質バイオマスガス化発電や新建材C.L.T(直交集成材)の事業化」が具体策として計画されている。

計画によると、16年度内に木質バイオマスガス化発電で得られた電気を町内の公共施設や病院等へ売電する地域電力会社と木質バイオマスガス化発電事業会社2社の設立が目論まれている。

特に、木質バイオマスガス化発電プラント建設事業は民間が事業主体となることが求められる。

そこで、特別委員会としては、

燃料となる木材の調達計画や素材生産者の事業参画、本町が定住施策として強力に推し進める自伐型林業実践者の育成など客観的な視点から、慎重に調査をしているところである。

調査は、3月29日を皮切りに6月定例会までに7回行った。

調査結果と課題

◇ 町は、民間による木質バイオマスガス化発電プラントの建設資金調達に対する債務保証はしない、また経営にかかる損失補償もしない。

◇ 木質バイオマスガス化発電によって得られた電気を売電する地域電力会社には応分の出資を行う。

◇ 国内で本格稼働している木質バイオマスガス化発電プラントは今年の5月に長野県安曇野市でエアール・ウォーター株式会社が始めてで、地元素材生産業者や県、町で構成された協議会メンバーによる視察が7月に予定されている。

◇ 木材搬出に欠かせない林内作業道は、過去3カ年、町と高津川森林組合を合わせて毎年、概ね1万延米開設している。

◇ 発電プラント建設の関連施設である木材ストックヤード及び付属機械整備やチップ乾燥施設、ペレット製造施設、木材乾燥施設整備など町の対応も重要となってくる。



地域おこし協力隊による作業道開設状況

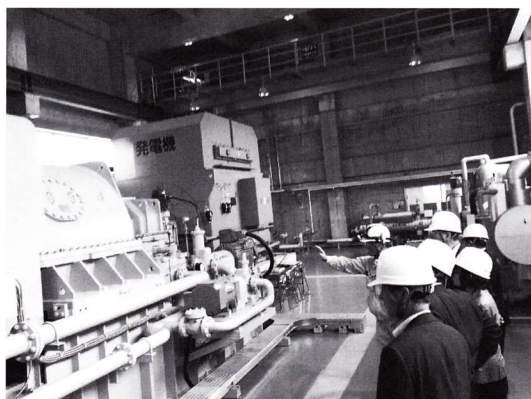
継続調査とする

◇ 森林・山村多面的機能発揮対策事業に意欲的に取り組む組織が町内に14団体ある。

◇ 協議会による先進地視察と事業目論見の十分な検証による最終判断を尊重する。

◇ 広く町民の意向をお聞きする。

以上のことから特別委員会として継続調査とした。



しまね森林発電への視察 5/23 江津市



地域おこし協力隊による作業道開設状況



提出者	第4回 6月定例会 賛否表 ○=賛成 ●=反対	後山	川田	米澤	岡田	草田	丁	寺戸	御手洗	三浦	京村	板垣	結果
町長	【専決処分】 津和野町税条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	【専決処分】 津和野町国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	平成27年度鷲原地区下水道管布設工事請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	津和野町過疎地域自立促進計画（H28年度～H32年度）の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	津和野町美しい森林（もり）づくり条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	津和野町国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決
	津和野町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	津和野町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	津和野町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	津和野町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決
	津和野町まちなか再生関連施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成28年度津和野町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成28年度津和野町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成28年度津和野町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成28年度津和野町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成28年度津和野町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成28年度津和野町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成28年度津和野町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成28年度津和野町診療所事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員	平成28年度津和野町介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成28年度津和野町病院事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員	「青少年健全育成基本法の制定を求める意見書」の提出	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決

意見書

●『青少年健全育成基本法』の制定を求める意見

【提出者】 三浦英治

【賛同者】 板垣敬司

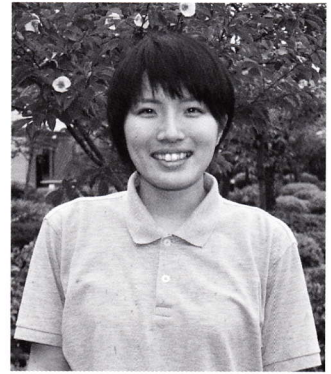
社会における急激な情報化の進展、過度の商業的風潮のまん延等により青少年の環境にもたらす弊害が深刻化し、かつ増大している。これらの問題に対しては、各都道府県の「青少年健全育成条例」が対処し、一定の効果を上げてきたが、今日ではその限界性が指摘されている。青少年健全育成に対する基本理念や方針などを明確にし、一貫性のある包括的、体系的な基本法の制定を求めるもの。

※国の関係機関に提出

【反対意見】 成立が延びている原因は、表現の自由が侵される懸念を払拭できていない。

この人にインタビュー

「我以外皆我師也」



津和野農業女子
三宅 智子さん 26歳

*主な経歴を教えてください。

三宅 津和野町鷺原出身です。2012年島根大学生物資源科学部農業生産学科を卒業後、鳥取県の家族経営農家で1年3か月研修しました。

*野菜作りのモットーは。

三宅 自分、家族、知り合いが食べるものだという意識で、美味しく安全なものを作ろうと心がけています。好きな言葉は「我以外皆我師也」です。

*農業に本気で取り組むきっかけはなですか。

三宅 農業をしてみたいなと思ったのは祖父母が農業をしている姿を見て育ったことがきっかけです。祖父母の姿に憧れていたし、いつか私も津和野に帰って

農業をしようと思っていた。いざ帰ってみると小さい頃から可愛がつくれた農家さんたちも年を重ねられていて、後継者がおられず、耕作放棄地も増え、少し寂しさも感じました。そうした中で、インターンの新規就農者も増え始めていて、地元出身の私も「がんばらなきゃ」と思いました。

*どのような活動団体に参加されていますか。

三宅 地域行事への参加を積極的に行っています。地元鷺原の行事で言えば、津和野流鎗馬保存会に加入し、今年はアナウンスという大役をさせていただきました。また、鷺原八幡宮暴れ神輿会では女性として初めてお神輿を担がせてもらいました。地域の方々があたたかく迎えてくださり、様々な挑戦・経験をさせてもらっています。その他にも津和野盆踊り保存会では毎年衣装を着て踊らせてもらっていますし、来年は津和野踊りが伝来して400年ということなので、これから記念行事に向けてお手伝い出来たらいいな、と思って

います。こうして様々な地域活動に参加するのも、自分自身があまり津和野のことを町外の人に説明できないと感じているからです。知ること・体験することで津和野の魅力を発信出来るようになりたいです。

*農業の規模は。

三宅 ハウス5棟、田んぼ60aです。主な生産物は、メロン、ブドウ、米、露地野菜、山菜などです。

*農業の楽しさはなんですか。

三宅 毎日美味しいご飯が食べれることです。畑で収穫しながら今日は何の料理を作ろうかな、と考えるのが楽しみです。また、先輩農家さんが周りにたくさんいらっしゃるので、話しかけてもらえることも楽しみの一つです。

*これからの抱負は。

三宅 津和野町に住み続けて津和野の農業を盛り上げていきたいです！

聞き手：米澤 宏文

編集後記

町内の民俗芸能やお祭り、行事等、皆が集い楽しめることを大事にして盛り上げましょう。

1月初詣に始まり、節分祭、春秋の大祭・3月山口線SL運行開始・4月花まつり、鷺原八幡宮流鎗馬神事・5月乙女峠祭り・6月ほたる祭り、輪くぐり神事・7月鷺舞神事、つわの鯉・恋・来い祭り・8月鮎祭り花火大会、津和野大橋灯籠流し、各集落の盆踊り・9月中曾野地芝居等、青原・日原・津和野奴行列、町内各地のお祭り・10月地酒と芋煮の会。

通年で石見神楽・つわの太鼓・つわのよさこい風雅蒼涼・津和野、日原道の駅でのイベント等他にも沢山有ります。多くの催し物に参加して津和野町を元気にしましょう。

米澤 宏文

議会広報編集委員

◎米澤 宏文 ○川田 剛

丁 泰仁 御手洗 剛

三浦 英治 板垣 敬司